

【同時発表】

港湾局産業港湾課、八代市

令和3年7月26日
九州地方整備局

九州のおへそで「ビッグくまモン」がお出迎え

～国際交流拠点「みなとオアシス八代」誕生～

令和3年7月31日に八代港が「みなとオアシス八代」（熊本県八代市）として、みなとオアシスに新たに登録されます。くまモンポート八代の建設など発展を続ける「八代港」において、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながることを期待されます。

- 「みなとオアシス」とは、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するものです。
- 「みなとオアシス八代」の登録により、「みなとオアシス」は全国で151箇所、九州管内で22箇所、熊本県内で3箇所となります。
- くまモンポート八代にて「みなとオアシス登録証交付式」を開催します。
 - 7月31日(土) 9時00分～9時30分 (くまモンポート八代内)
- 取材をご希望の方は、7月29日(木)12時までに、別紙-5の取材申込書によりFAXにて事前登録をお願いします。
※ 現在、プレオープン期間中のくまモンポート八代では、土日祝及び熊本県民限定で対象範囲を絞っての入園となっております。併せて、新型コロナウイルス感染防止対策も実施しておりますので、ご協力をお願いします。

「みなとオアシス八代」のポイント!!

- 代表施設「旅客ターミナル」を含む「くまモンポート八代」は、“くまモン”をテーマにした公園や地元の特産品等の販売を行う空間を兼ね備えており、地域住民や観光客が楽しめる交流拠点施設であり、世界最大級のクルーズ船受入拠点となっています。
- 八代港で毎年開催されるみなと八代フェスティバルは、海上自衛隊、海上保安庁の艦船、港湾周辺の立地企業の協力により、様々な船による体験航海・クルージングを行い、子供から大人まで海や港に親しめる多彩な催しを行っています。
- 周辺の構成施設である三ツ島では、八代海の伝統漁法を間近で見学しとれたての海の幸に触れ、無人島で漁師めしをご賞味いただける「舟出浮き」を楽しむことができます。



旅客ターミナル



みなと八代フェスティバル



三ツ島(舟出浮き)

※ 「みなとオアシス八代」の詳細については、別紙-1、別紙-2、別紙-3、別紙-4 をご参照願います。

<問い合わせ先>

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室

担当：室長 栗畑 竜志（くわはた りゅうじ）

課長補佐 金澤 利男（かなざわ よりお）

Tel:092-418-3340（代表）092-418-3379（直通） Fax:092-418-3037

○ みなとオアシスとは

- ## ○みなとオアシスの担う役割

- ## ○みなとオアシスの構成施設

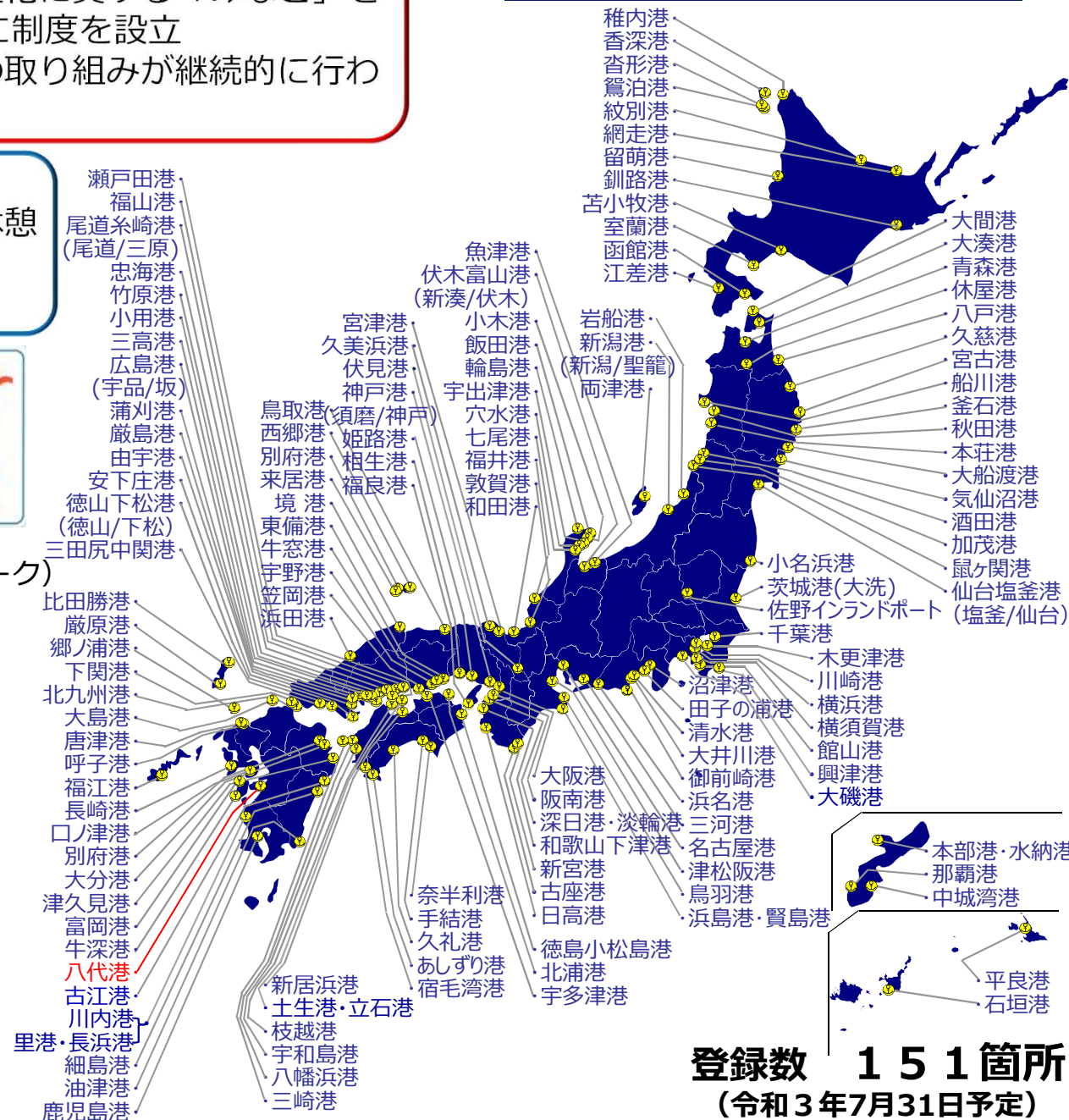
- 標章
(シンボルマーク)

○みなとオアシスの設置者・運営者

- ## 構成施設のイメージ

地域振興イベントの開催状況

みなとオアシス所在港湾の一覧



登録数 151箇所
(令和3年7月31日予定)

【概要】みなとオアシス八代



【基本情報】	
設置者	八代市
運営者	くまモンポート八代・クルーズ活性化協議会 みなとオアシス部会
所在港湾	八代港 【重要港湾】
港湾管理者	熊本県
登録日	令和3年7月31日予定



【代表施設】



旅客ターミナル

【主なイベント】



みなと八代フェスティバル



舟出浮き



九州国際スリーデーマーチ

くまモンポート八代

代表施設「旅客ターミナル」を含む「くまモンポート八代」は、“くまモン”をテーマにした公園や地元の特産品等の販売を行う空間を兼ね備えており、地域住民や観光客が楽しめる交流拠点施設です。

クルーズ船おもてなしイベント

八代港は平成29年（2017年）7月、官民連携による国際クルーズ拠点の形成を推進するための「国際旅客船拠点形成港湾」に指定されました。また、平成30年（2018年）2月には、熊本県とロイヤル・カリビアン・インターナショナル社で「八代港クルーズ拠点形成協定」を締結し、八代港において官民連携による国際クルーズ拠点を形成していただきました。



やつしろ舟出浮き

「舟出浮き」はかつて八代のお殿様が、鉾突きという漁法で遊んでいた舟遊びが始まりです。

八代海の伝統漁法を間近で見学したあとは、無人島に渡り、とれたて新鮮な海の幸を堪能していただく海のレジャー（体験型観光）です。



エコエイト環境フェスタ

八代内港に2018年7月から稼動を始めた「エコエイトやつしろ（八代市環境センター）」と、2019年7月に開放した「緑地広場」を広く知ってもらおうと共に、環境保全への関心を高めることを目的に開催しております。当日は、施設見学や「鮎のつかみどり」、マルシェなどがあり、家族連れなどで賑わいを見せます。



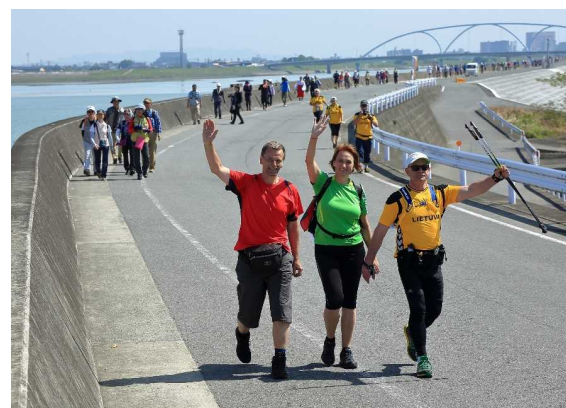
みなと八代フェスティバル

市民と海との関わりを基本とし「活力あふれる産業のまち」を建設することを目的として毎年八代港で開催しています。みなと八代フェスティバルでは、海上自衛隊や海上保安庁などの艦船や、港湾周辺の立地企業の協力により、子供から大人まで海や港に親しめる催しを行っています。



九州国際スリーデーマーチ

『八代』の自然と健康とロマンを求め、世界各国、日本各地のウォーカーとの出会い、八代地域の人々とのふれあいを楽しむ『国際色豊かな歩く祭典』です。球磨川や氷川、八代海、そして新緑の山々など豊かな自然を堪能できるコースや、ユネスコ無形文化遺産に登録された八代妙見祭の神事を担う八代神社（妙見宮）を周回するコース、和やかな田園風景や晩白柚の花の香りを感じていただくコース等をご用意しています。



八代城主・松井直之（まついな おゆき）が元禄元年（1688年）に造った御茶屋です。当時は松林越しに八代海や雲仙を望む雄大な庭園でした。

国の名勝にも指定されており、雄大な海と遥かな景色を取り込んだ意匠を持つ、江戸時代初期の大名庭園として貴重なものです。6月上旬には約5,000本の肥後花菖蒲が見頃を迎え、人々の目を楽しませます。また、松井家に伝わる家宝を展示する松井文庫の資料館があり、宮本武蔵ゆかりの「戦気」の軸や手彫りの木刀も展示されています。

松浜軒（しょうひんけん）



元和5年（1619）の大地震でそれまでの麦島城が崩壊したため、加藤正方が麦島城北方に新たに築いたのが八代城で、同8年（1622）に竣工しました。石垣に石灰岩を使用し別名白鷺城ともよばれます。加藤家改易の後、寛永9年

（1632）細川三斎（忠興）が入城、正保3年（1646）には松井興長が入城し以後松井氏九代の居城となりました。一国一城令の例外として熊本城以外に認められた城で、八代の地が幕府から重要視されていたことがわかります。

現在に残る本丸跡は公園として整備され市民の憩いの場として親しまれており、春には桜の名所となります。

八代城跡



お祭りでんでん館（八代市民俗伝統芸能伝承館）

7月31日 午前9時よりオープンします。

お祭りでんでん館は、八代の祭りや芸能の魅力を伝え、未来に伝えていく施設です。妙見祭や民俗芸能を楽しみながら学ぶことができる展示棟と、民俗芸能の公演や各種講座を開催する会議棟があります。



▲平成28年12月1日、八代市の伝統的な祭りである「八代妙見祭」を含む全国33の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産として登録された

肥沃な土壌が広がる八代平野、土地の風土や歴史も織り込まれた八代では四季折々に豊かな実りが私達を楽しませてくれます。



いぐさ

熊本県で栽培されているいぐさは全国約9割を占め、そのほとんどが八代地域で栽培されています。



晩白柚（ばんぺいゆ）

世界最大のかんきつ類としてギネスにも登録されている果物です。まずは飾って香りを楽しみ、次に果実の味を楽しみ、そして最後は、皮をお風呂に入れたり、甘く煮たりして3度も4度も楽しむことができます！



トマト

八代市はトマトの生産量が日本一です。「塩トマト」や、「はちべえトマト」が有名です。



ちくわ

豊富に水揚げされる魚を使い、竹にまいて焼いたのが始まり。大きく肉厚なちくわが人気。イベント等では日奈久名物・ちくわ焼き体験もできます。



トマピーエン

トマトの生産量日本一の八代ならではの人気メニュー。たっぷりとフレッシュトマトを使ったヘルシーな一品



豆腐の味噌漬け

山深い五家荘で古くから珍重されてきた郷土料理の一つ。“山のチーズ”の異名を取り、平家落人が愛した一品を酒の肴やご飯のお供にどうぞ

「みなとオアシス八代」へのアクセス



【交通・アクセス】

(車)

- ・福岡IC → (約1時間20分) → 八代IC → (約12分) → くまモンポート八代
- ・鹿児島IC → (約1時間40分) → 八代IC → (約12分) → くまモンポート八代

(鉄道)

- ・JR博多駅 → (約50分) → 新八代駅 → タクシー (約10分) → くまモンポート八代
- ・JR鹿児島駅 → (約45分) → 新八代駅 → タクシー (約10分) → くまモンポート八代

【観光案内の問合わせ】

(一社) DMOやつしろ

所在地：〒866-0861 熊本県八代市本町一丁目10-36 ヨネザワビル1F
電話：0965-31-8200 営業時間：8:30～17:30 定休日：土日祝 (年末・年始は休業)

くまナンステーション

電話：0965-37-8281 営業時間：10:00～17:00 定休日：木曜 (年末・年始は休業)

取材申込書

FAX 096-311-3203

国土交通省九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所
総務課 宛取材を希望される方は、事前にFAXにてご登録をお願いします。申し込み期限：令和3年7月29日(木)12時まで

会 社 名		
取材者氏名 (全 員 分)	氏名	来場車両ナンバー
	氏名	来場車両ナンバー
	氏名	来場車両ナンバー
	氏名	来場車両ナンバー
	氏名	来場車両ナンバー
連 絡 先	TEL TEL(携帯) FAX	

(備考)

下記の連絡先には、取材当日に連絡可能な連絡先(携帯)を記入してください。

(取材当日、変更等が生じた場合に連絡します。)

取材の際は、社名が記された腕章を着用し、担当の指示に従ってください。

来場にあたっては、マスクの着用、手指の消毒及び検温にご協力をお願いします。

体調の優れない方、また、検温の結果が37.5度以上の方については、入場をお断りさせていただきます。

交付式終了後、旅客ターミナル内及びくまモンパークの見学会を実施します。なお、旅客ターミナル内の一部エリアは撮影が禁止されている場所がございますのでご留意願います。